

【共通問題】

- ① 一揆について記した史料イ～ホを読み、以下にある問に答えよ。なお、各史料は漢文を書き下し文に直すなど、読みやすくしてある。 (配点30点)

イ (  元年) 九月 日、一天下の土民蜂起す。( 1 ) と号し、酒屋、( 2 )、寺院等を破却せしめ、雑物等恣にこれを取り、借錢等悉これを破る。管領これを成敗す。凡そ亡国の基、これに過ぐべからず。日本開白以来、土民蜂起是れ初めなり。

ロ (文明十七年十二月十一日) 今日〔 A 〕国人集会す。上は六十歳、下は十五六歳と云々。同じく一國中の土民等群衆す。今度、兩陣の時宜を申し定めんがための故と云々。しかるべきか。但し又 ( 3 ) の至なり。

(文明十八年二月十三日) 今日〔 A 〕国人、( 4 ) に会合す。國中の掟法なお以てこれを定むべしと云々。およそ神妙。但し興成せしめば、天下のため、しかるべからざる事か。

ハ (長享二年六月二十五日) 叔和西堂語りて云く。今月五日越前府中に行く。それ以前、越前の合力勢賀州に赴く。しかりといえども、一揆衆二十万人、( 5 ) 城を取り回く。故を以て、同九日城を攻め落さる。皆生害して、( 5 ) 一家の者一人これを取り立つ。

ニ (  二年正月二十九日) 或人曰はく。〔 B 〕国の土民、旧冬の京辺の如く蜂起す。國中の侍を悉く攻むるの間、諸庄園代加之守護方の軍兵、彼等の為に或いは命を失ひ、或いは追落さる。一国の騒動希代の法なりと云々。凡そ土民侍をして國中に在らしむべからざる所と云々。乱世の至なり。仍て赤松入道発向し了んぬ者。

ホ (  元年九月三日) 近日、向辺の土民蜂起す。土一揆と号し、御( 1 ) と称して、借物を破り、少分を以て押して質物を請く(中略) 今日、法性寺の辺に此事有りて火災に及ぶ。侍所多勢を以て防戦するも猶承引せず。土民数万の間、防ぎ得ずと云々。賀茂の辺か、今夜時の声を揚ぐ。(中略) 今土民等、代始に此の沙汰は先例と称すと云々。言語道断の事なり。

問1 空欄  ・  に入る適切な年号をそれぞれ1つ選べ。

- ① 応安 ② 嘉吉 ③ 正長 ④ 応永

問2 空欄 ( 1 ) ～ ( 5 ) に入る適切な語句を記せ。

問3 空欄 [ A ] ・ [ B ] に入る適切な国名をそれぞれ1つ選べ。

- ① 山城 ② 河内 ③ 播磨 ④ 近江

問4 下線部 a は誰のことか、記せ。

問5 史料イの出典として適切なものを1つ選べ。

- ① 『蔭涼軒日録』 ② 『大乘院日記目録』 ③ 『薩戒記』  
④ 『大乘院寺社雑事記』

問6 下線部 b に該当する軍勢を率いていた人物2人の名をそれぞれ記せ。

問7 下線部 c は越前国を支配していた戦国大名が派遣した軍勢を指す。その戦国大名は何氏か、記せ。

問8 下線部 d は将軍が交代したことを指す。この頃に新しく就任した将軍として適切なものを1つ選べ。

- ① 足利義持 ② 足利義教 ③ 足利義勝 ④ 足利義視